

森泉荘だより

発行日
平成22年5月1日

〒018-4515 北秋田市阿仁前田字下前田家の下モ28番地
特別養護老人ホーム 森泉荘
TEL (0186) 75-3204 FAX (0186) 75-3205
メールアドレス shinsensou@gamma.ocn.ne.jp

No. **44**



～昔を懐かしむ～

昔、使い親しんだ道具を見て、「わあー懐かしい」と大きな歓声が響き、その瞬間タイム・スリップ。きらきら目を輝かせ実際に手で触れて、感動・感動の一場面でした。

新施設長を迎えて



施設長

白沢俊孝

春が来た、春が来た//長くて寒い冬が終り新緑、桜の季節がやって来ました。

この度、法人内の異動により、森泉荘に就任しました白沢です。今まで長い間

もりよし荘でお世話になり、初めての異動で重責に感じています。これからは利用者、職員、地域の皆様の名前と顔を覚えながら、施設での生活に元気な挨拶と明るく笑顔で接して行きたいと思いますのでよろしくお願ひします。

また今迄、施設運営にご尽力下さいました、高杉施

設長に深く感謝致します。これからも私達職員が一人となつて継承し、ますます利用者、家族の皆様から愛される施設として頑張る所存です。

さて森泉荘の方針では、『人権尊重を重視し、職務の特殊性を強く認識し、常に利用者の立場にたった公正、公平に対応し、明るく、楽しく充実した生活が送れるよう努める』となつておりますので今後、家族の皆様が心配事や困り事等ありましたら是非ご連絡下さいれば、解消するよう努力します。家族の皆様も是非森泉荘を訪れ入所者と月二〜三回程

面会して、いろんな話しをして親子の絆を深めて頂ければ幸いです。

先般、札幌市にてグループホームの火災事故があり尊い命が亡くなる記事がありました。このような不安を解消するため、北秋田市施工で今年度中にスプリングカラーの設置をすることになりました。利用者、職員、家族に安全、安心な施設作りを常に心掛けて行きます。最後に、日頃より大変お世話になつているボランティアの皆様には心から感謝を申し上げますと共に、今後も森泉荘に対するご支援、ご協力をよろしくお願ひします。

苦情解決担当者が替わります

森泉荘では、福祉サービスの提供に対する苦情への適切な対応を行うことにより、利用者の方の権利を保護するとともに、より満足して福祉サービスを利用していたために、苦情解決規程を設け受付担当者として解決責任者を定め苦情解決に努めておりますが、担当者が替わりましたので、お知らせします。

◆ 苦情受付担当者

柴田 甚一郎 (総務課長)

◆ 苦情解決責任者

白沢 俊孝 (施設長)

利用者の皆様等からの苦情は、面接、電話、書面等により苦情受付担当者が随時受け付けています。受け付けた苦情は苦情解決責任者が申し出た方と誠意を持って話し合い解決に努めます。どんな些細なことでもお気軽にお申し出ください。ご願ひします。なお、施設には直接言いにくいと思われる方は、次の行政機関などでも受け付けておりますのでご利用ください。

秋田県福祉サービス相談支援センター

TEL〇一八(八六四)二七二六

秋田県国民保険団体連合会

TEL〇一八(八八三)一五六〇

北秋田市健康福祉部高齢福祉課

TEL〇一八六(六二)一一二二

春を待つ遊びや節句

— 童心に返りわいわい —



▲何が当たるかな、宝引き大会 1月6日

森泉荘では毎年、昔ながらの行事が行なわれています。年始め恒例の宝引き大会、何が当たるか運だめしです。賞品を手にして喜んでいました。

もちつき大会では、元気なかけ声と共に、もちつきが始まりついたもちは、みんなが上手にまるめていました。

2月3日は節分//今年の鬼はやさしい青おにと赤おにらしく、みんな楽しそうに笑って福を呼んでいました。

3月3日のひな祭りでは、みんな夢中になって一文雛作り、それぞれ健康を祈っていました。



▲優しい赤おにと青おにでした 2月3日



▲一文雛が上手に折れました 3月3日



▲息もぴったり、もちつき大会 12月28日



▲みんなでまるめるよー

今年は **寅** 年です
 森泉荘の年男・年女の
 紹介をします

寅は頓(動くの意味)で、春が来て草木が生ずる状態を表していると言われます。
 その後、覚えやすくなる為動物の虎が割り当てられたそうです。虎は強いものの代名詞としてよく用いられ、イメージで効き目あるだろうと、骨や内臓は滋養強壯の漢方薬に使われたそうです。



▲九島 スワさん

優しい寝顔の九島スワさん。一番の楽しみは、ご家族の面会です。特に、ひ孫の面会は楽しみの様子で、元気なひ孫達の声が、廊下から聞こえて来ると、反応して顔を動かしては、ベッド側に寄って来てくれるのを心待ちにしている様子が伺われます。

また、以前は自慢の歌も聞かれましたが、冬と共に最近では聞かれなくなりしました。雪融けと共に、また、元気に歌を口ずさんでくださいね。



▲金 三太郎さん

満面の笑みがとても素敵なお金三太郎さん。『話しかけるとあたたかい笑顔を私達に返してくれます。また、

時々聞かせてくれる声は低くて渋い声です。誕生日には、娘さんから届いたプリンをその渋い声で「おいしい」と言いながら笑顔で食べていました。

新聞を持つて行くと「いい新聞だ。このだ。」と自分でめぐり、真剣に見ています。これからも元気に過ごし、素敵な笑顔を私達に見せて下さいね。



▲伊勢谷ケイさん

伊勢谷ケイさん寅年生まれの七十二歳。病気の為長い間病院での療養生活を送つて来られた。今は森泉荘での生活を送り病気に負けず頑張っています。いつでもユーモアのある会話で楽しくさせてくれます。

寅は千里の道を往復すると言われるほど生命力がたくましいと言われます。伊勢谷さんも寅年生まれ強い生命力でこれからもお元気な長生きして下さい。

TBKメデイカルスクール
 介護実習



▲佐藤 文子さん

研修にあたり、介護を知らない私は緊張の連続でした。二ヶ月たったのに未だに上手く出来る物はありません。森泉荘のスタッフさんを見てみると、利用者さんへの細やかな心遣いが私にまで伝わって来ます。今後介護職につければ、「利用者さんに何かをして上げる」のでは無く、「させて頂く」という気持ちで接したいと思えます。

二ヶ月間の実習で介護について学ぶことができました。介護技術や利用者さんとのコミュニケーションのやり方など職員の皆様から分かりやすく、ご指導していただきました。教えて頂いたことを、活かして福祉の仕事に就きたいと思えます。森泉荘の職員の皆様、利用者の皆様ありがとうございました。

▼三浦 イクエさん



ボラティアの輪

コスモス会代表 松橋イホさん

草木の芽吹きし音の近くまで聞こえてまいりました。定かでありません今昔物語語になります。記憶の糸を手繰り寄せてみます。

御嶽に尋常高等小学校がありました。それが川向地区に新築になり、その跡地に老人センターが建つたのです。そのセンターの中に森吉町社会福祉協議会があり、事業の一端として私達を集めたと思います。

手始めに一人暮らし老人に福祉弁当を作り配りました。その時春山の山菜を採り、彩に添えたことなど。そのうちに仲間も増えまして、集合に便利なるよう名前を付けることにして、候補名あれこれ話し合い、コスモス会になった次第です。コスモスは、かそけき風にも揺れ強い風にも耐え、優しい花びらも持つ花なので決定しました。

それから活動を始め、森幸園の草取り、ハーブを束にしたことなど。いまその広場は駐車場となり、昔の面影もありません。

もりよし荘さんにもお邪魔しました。車椅子、ベツト、ガラス掃除と三回に分け磨いたものです。今も昔話にあの時は大変だった事、若かりし時だから出来た事であった思いが残ります。

コスモス会の事業として、消防署にお願いしまして普通救命講習を二回に渡り頑張り受けて、小さな修了証を頂きました。これが役立ちました。会員の家族に救命事態が発し、習ったことを実行したそうです。救急隊員に褒められた話を後で耳にし、ありがたい事でした。

え方など、おしゃべり園児共々楽しみます。秋はコスモス会員の料理実習があり、会員の得意な分野を作り試し、話に花咲かせ会員の親睦を高めます。

いよいよ百Kマラソンの時期になりました。前日に米二斗を洗い、添物の数を数えて下ごしらえしておきます。当日二斗の米を炊き二百人分のおにぎりを作ります。中に具を入れる人、容器を数える人、手と手、口と口が走ります。係の方が引取りに来ますその時分に、選手の一番手が間近に迫っています。

「おはようございます」森泉荘さんに。利用者さんの目が生きています。介護に当る皆様の少しの足しになつてくれるとありがたいことだと思ひ、微力ながら奉仕の心を持ち喜んで参ります。車での送迎ありがたく、自

分らが癒されています。思いつくままに書きました。皆様の温かいぬくもりに触れ、私方もまた来ようと、元氣もらって帰ります。ありがとうございます。

◆なだらかな 冬陽浴びいる 森泉荘 そんなひと日を 支えし手と手
◆孫来ぬか 尋ねし人を まじまじと 見入りし人の 背なをなでたし



新聞紙たたみやガーゼ切りをしていただきました



▲会員のみなさん

弥栄(いやさか)を願って

100歳を祝福

明治43年生まれの吉田キミさんが満100歳の誕生日を迎え、国から総理大臣名の祝い状をいただきました。伝達式には娘さん達も駆け付け長寿達成を祝福しました。娘さんは「感謝ばかり。もう年は取らなくていいからいつまでも元気でいてほしい。」と話していました。又、料理が得意で各地の結婚式料理にひっぱりだこだったとか。100歳おめでとーございます。



▲力を込めてくす玉割り 9月30日



▲市からも祝い状をいただきました 1月12日

職員動向

—異動—

施設長 白沢 俊孝(もりよし荘より)
 総務課長 柴田甚一郎(もりよし荘より)
 主任生活相談員 永井 直人(もりよし荘より)
 介護職員 森川 修子(もりよし荘より)
 臨時調理員 春日 桂子(もりの郷より)

事務長として(もりよし荘へ) 柏木 正人
 総務課長として(もりよし荘へ) 大倉 慶人

—採用—

桜田 貴大(清掃パート)

—退職—

高杉 義博
 玉造トシ子
 若松 照子

長い間ご苦勞様でした。

ご勇退

高杉 義博氏

平成十三年四月、六代目施設長に就任された高杉施設長が、平成二十二年三月三十一日付で勇退されました。この間、施設長として短期入所の増床・機能訓練室の設置等、より良いサービス提供を…と、ご尽力されました。

杉施設長が自ら手入れをしていたからです。暑い中で草刈り、庭の草花を花の好きな利用者へプレゼント。東屋にあるドライフラワーは、高杉施設長のお手製です。どれもこれも、利用者の皆さんが、気持ち良く過ごせるようにとの思いが感じられます。



介護者のあるべき姿のお手本となっていた高杉施設長、長い間、本当にご苦勞さまでした。

編集後記

先日、久しぶりにものすごい緊張を経験しました。『介護福祉士実技試験』です。森泉荘にはこの国家資格を持つている職員が多く、先輩職員の努力は相当なものだと改めて感じました。皆さんが安心して過ごせるよう、日々努力//していきます。(A・O)

ボランティア紹介

(H21. 10. 1 ~ H22. 3. 31) 敬称略

演芸披露

秋田相撲甚句御一行様 前田民謡同好会
 浦田小学校全校児童 米内沢民謡研究会

作業奉仕

森吉婦人会 巻瀨婦人会 桂瀨婦人会 神成婦人会
 向本城 前田駅前婦人部 さくら会 コスモス会

御詠歌披露

福寿寺梅花講